

まちづくり委員会 基本方針（案）

まちづくり室 まちづくり委員会
委員長 蒲原 伸矢

1 昨今、新型コロナウイルス感染症により引き続き全世界が大きな影響を受け、一般社団
2 法人佐賀青年会議所の活動が縮小や自粛という状況に見舞われております。佐賀の地域に
3 存在する課題と向き合い、分散型やデジタル革新を駆使するなど今までと違う社会変革型
4 の事業で地域に活力を与え、未来を明るくするまちづくり運動を行っていく必要があります。
5

6 まずは、佐賀青年会議所と行政、佐賀に住み暮らす地域の方がたと共に運動を行ってい
7 くために、各地域に存在する課題の把握と共有を行い地域課題の解決をすることで、住み
8 やすいまちづくりを行ってまいります。そして、佐賀に住み暮らす方がたが交流を行い、
9 地域のつながりを高めるために、地域交流が増えるよう行政と連携を行ない、地域のコミ
10 ュニティの場を提供することで、人と人の支えあいの交流づくりを行ってまいります。さ
11 らに、諸先輩が長きに亘り受け継いでこられた花火大会を継続的に行うために、ソーシャ
12 ルディスタンスを守った分散型とメディアやY o u T u b eを用いた花火大会の配信に演
13 出を含めた配信を行ない、今の時代に合ったデジタルとアナログを用いた花火大会をつく
14 ってまいります。また、今の時代に合った花火大会を行なうために、花火に対するみんな
15 の思いをのせた花火大会を形にし、大人と子どもたちが未来への明るい希望になる思い出
16 に残る感動的な花火大会をつくってまいります。

17 佐賀青年会議所と行政、地域との関係をより結びつけることで佐賀に住み暮らす地域の
18 人びとと共に感動を分かち合い、佐賀に貢献できるまちづくり事業を続けていくことで「修
19 練」「奉仕」「友情」の三信条のもと、「銀鱗躍動」のように地域で勢いよく輝き続ける団体
20 を目指します。

21 22 23 [事業計画]

- 24 1. 地域運動（通年）
- 25 2. 花火大会の企画・運営（8月）
- 26 3. 京都会議参加者への支援（1月）
- 27 4. 河川清掃（4月）
- 28 5. 例会企画・運営（4月・7月）
- 29 6. 全国大会大分参加者への支援（10月）
- 30 7. 会員拡大 拡大目標 委員会8名（全体40名）